

あきのくに ひろしまあさの け ちゅう ひら お け  
安芸国広島浅野家家中 平尾家文書 目録

( 『広島県立文書館 収蔵文書目録』第1集 所収 )

広島県立文書館

平成26年(2014)3月

凡 例

1 本目録は、『広島県立文書館 収蔵文書目録』第1集(平成6年3月刊)に掲載された「安芸国広島浅野家家中 平尾家文書」の目録である。

2 目録の各項目は以下のとおり。

請求番号 本文書群の群番号(198908)と、この項目の記号を組み合わせたものが請求記号になる。

【例】 9/1 (請求記号)

198908
9
1

表 題 資料にある原表題をそのまま採った。原表題がないものは、仮題を付けて〔 〕書きとした。内容について補記が必要な場合は、( )書きで補った。頭に○を付したのは、集合形態等をした文書の内訳であることを示す。

年 代 資料に記された作成年月日を探り、推定は( )書きとした。

作 成 資料にある作成者名をそのまま採り、資料に授受関係のあるものは 結んで表記した。

形 態 資料の形態を記した。

数 量 資料の点数を記した。

備 考 補記すべき備考があれば、 付きで示した。

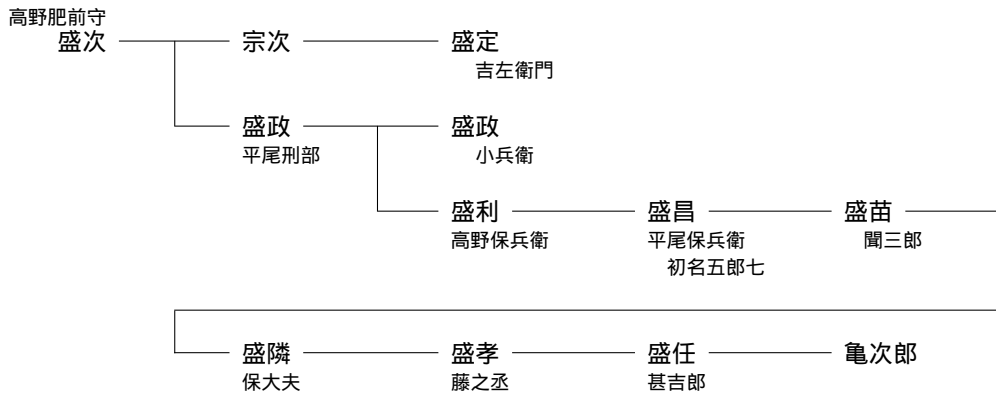
3 文書の排列は、文書群固有のあり方に基づき、項目別に編成した。同一項目内の文書は、原則として年代順としたが、年未詳のものは、末尾に置いた。

4 利用の参考のため、本文書群の解説を冒頭に付した。

## 解 説

<sup>ひらお</sup>  
平尾家文書はもと広島城郷土館に寄託されていた広島藩士平尾家の文書で、所有者の栄守整司氏によって、平成元年6月14日に県立文書館に寄託替えとなった。

平尾氏は、系図によれば摂津を本国とする源氏で、もとは高野氏を名字として名乗っていた。平尾氏の系図は次のようなものであるが、本文書を伝えた平尾氏の祖は高野保兵衛である。



『旧臣録』（御入国以後長晟公江相勤家筋）には寛永9年より召し抱えられた者の一人として高野保兵衛が次のように記載されている。

平尾刑部盛政二男  
高野保兵衛盛利

当時  
平尾甚吉郎

平尾家文書の中で文書の宛先として出てくるのは、平尾刑部盛政が写しに一回出てくるのみで、あとは高野保兵衛盛利以降の人物である。文書の内容は、知行目録と系図・伝記類が大半を占める。

（長沢 洋）

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
1	覚(平尾刑部安芸・備後知行目録の写)	寛永11.6.5	(浅野)光晟 平尾刑部殿	縦紙	1通
2	覚(高野安兵衛安芸国知行目録)	寛永11.6.5	(浅野)光晟 高野安兵衛殿	縦紙	1通
3	覚(高野安兵衛安芸国知行目録)	慶安2.2.14	(浅野)光晟 高野安兵衛との ^	縦紙	1通
4	覚(高野安兵衛跡目平尾五郎七知行宛行申渡)	丑(寛文13).5.21	高野安兵衛跡目平尾五郎七	縦切紙	1通
5	覚(平尾五郎七安芸国知行目録)	延宝2.2.15	(浅野)綱長 平尾五郎七との ^	縦紙	1通
6	覚(平尾保兵衛安芸国知行目録)	宝永7.2.15	(浅野)吉長 平尾保兵衛との ^	縦紙	1通
7	覚(平尾紋三郎安芸国知行目録)	享保13.正.21	(浅野)吉長 平尾紋三郎との ^	縦紙	1通
8	覚(平尾紋三郎安芸国知行目録)	丑(宝暦7).正.	御勘定所 平尾紋三郎殿	縦紙	1通
9	覚(平尾紋三郎安芸国知行目録)	宝暦7.6.21	(浅野)宗恒 平尾紋三郎との ^	縦紙	1通
10	覚(平尾紋三郎安芸国知行目録)	明和3.正.28	(浅野)重晟 平尾紋三郎との ^	縦紙	1通
11	覚(平尾保大夫安芸国知行目録)	明和4.2.晦	川崎鹿之助・龍神甚大夫・吉岡平馬・田上郷大夫 平尾保大夫殿	縦継紙	1通
12	覚(平尾甚吉郎安芸国知行目録) 包紙あり	安政3.2.15	(浅野)齊肅 平尾甚吉郎との ^	縦紙	1通
13	覚(平尾亀次郎安芸国知行目録)	安政6.3.朔	小出左平太・西村保五郎・湯川守衛・永田丹解 平尾亀次郎殿	縦継紙	1通
14	覚(平尾亀次郎安芸国知行目録)	安政7.2.28	(浅野)茂長 平尾亀次郎との ^	縦紙	1通
15	{ 秩禄宛行の書付 }	. .10		切紙	1通
16	{ 平尾亀次郎家督平尾豊造秩禄相続証書 } 以上16通一括	明治4.9.3	(広島藩) 平尾亀次郎家督平尾豊造	縦切紙	1通
17	平尾甚吉郎盛任統系図伝記	文化2.9.	平尾甚吉郎	縦冊	1冊
18	{ 拝領目録 }(18通) 以上17・18一括			縦切紙	1通
19	平尾保兵衛系図伝記 正徳五年	正徳5.		包	1包 (2通)
19/1	○平尾保兵衛源盛任系図伝記	正徳5.7.16	平尾保兵衛	縦継紙	(1通)
19/2	○高束嘉郎太書状(先年御出しの系図年月日につき)		高束嘉郎太 平尾閨三郎様	切紙	(1通)
20	神文前書之事(兄弟契約につき)	享和2.7.19	莊田槌次郎 平尾甚吉郎殿	縦継紙	1通
21	平尾閨三郎盛苗系図伝記	寛延4.10.24	平尾閨三郎	縦継紙	1通
22	平尾刑部口上之覚(写)	延宝2.5.	刑部悴亮春(村田玄蕃 平尾五郎七郎殿)	縦継紙	1通
23	{ 平尾閨三郎差出 }(御当家 従曾祖父代御奉公相勤申候)		平尾閨三郎源盛苗	縦切紙	1通
24	平尾閨三郎盛苗系図伝記(下書)			縦継紙	1通
25	定(諸士家禄子孫まで全相続申し付くべし)	享保20.11.朔	(浅野)吉長 諸士中	縦紙	1通
26	覚(家中の面々家督跡目代々相違なく全く下し置かるべきこと他)	卯(享保20).11.朔		縦継紙	1通
27	{ 高野一学差出系図伝記書出の写 }(平尾刑部盛政伝記)	正徳5.5.15		切継紙	1通

番号	表 題	年 代	作 成	形態	数量
28	覚(平尾刑部一代の動き) 19~28一括, そのなかでさらに22~28が一括されている	. 9 .29	大代宗休	豎継紙	1 通
29	[ 賀養子許可 ]	.10. 9	政事堂	切紙	1 通
30	[ 文化以降縁組の覚 ]			切継紙	1 通
31	[ 甚吉郎弟平尾宗右衛門, 積年槍術 出精につき別紙の通, 御扶持方生涯 下さる ]			切紙	1 通
32	[ 平尾甚吉郎履歴書付 ]			切継紙	1 通
33	[ 常々出精相勤め候につき別紙の通 知行下さる ]			切紙	1 通
34	口上之覚(亀次郎母妻と唱えたき につき願)	. 正 .15	平尾甚吉郎	切継紙	1 通
35	松平岩松書状写(端午の祝儀として 帷子単物下され仕合せに存じ奉り 候)	. 5 .朔	松平岩松 紀伊守様	切紙	1 通
36	旧広島藩土諸士二告グ(土族授産所 全廃につき)	明治30. 8 .	元土族授産所土族共有財産処 弁委員会事務所	版	1 通
37	[ 差出雛形 ](何代ヨリ御当家御奉 公)			豎切紙	1 通
38	記(同族名簿用届控カ)		平尾確造 (土族共有財産処 弁委員会事務所)	豎紙	1 通
39	口上之覚(屋敷払下げの願)	. 5 . 8	平尾亀次郎	切継紙	1 通
40	[ 平尾盛任実名命名折紙 ]	寛政乙卯(7). 9 .	賀美台撰	折紙	1 通
41	小瀬清九郎・進藤次郎四郎書状(御 自分の儀数年御番懈怠なき段御聴に 達し御機嫌思し召され候)	.12.22	小瀬清九郎・進藤次郎四郎 平尾藤之丞	折紙	1 通
42	[ 平尾保兵衛室書付 ] 封筒あり, 附属紙片あり			切紙	1 通
43	[ 平尾亀次郎縁組許可 ] 29~43一括, そのなかでさらに29~36と37~43が一括されている			切紙	1 通